床のお手入れ方法について　ワックス部分塗り替え編

PR-05N

フローリングの床にワックスを塗布して生活していると、様々な原因により部分的にワックスが剥がれたり、白化したりすることがあります。そのまま生活していても大きな支障はありませんが、気になる場合にはその部分だけ塗り替えを行うと、大きな手間もかからず比較的短時間で補修が行えます。しばらくの間は補修部分が目立ちますが、時間の経過と共に目立ちにくくなります。

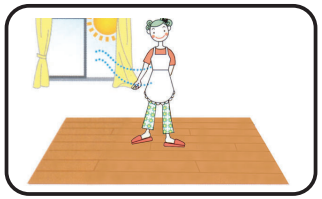
■この様な時に行います

ワックスの白化

ワックスのハガレ

この様な気になる場所を目立たなくしたい場合、一般的には上からワックスを塗りますが、これらの現象はワックスと床材の相性が悪い事が多いため、ただワックスを上塗りしただけでは、すぐに同じ状況になってしまいます。この様な現象が起きた場合、基本的に全面をハクリして塗り直さなければなりませんが、全面を塗り直すのは時間も労力もかかりますので、部分的に塗り直します。

■部分補修の方法



1 部分補修は時間に余裕のある天気の良い日に

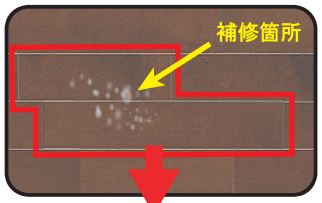
部分補修には多少時間がかかります。午前中から作業を始められる日で、晴れて気温が10℃以上の日を選んで行うようにします。

2 部分補修する場所の表面のゴミ・ホコリを取り除きます。

掃除機や乾式フロアワイパーなどを使用してゴミやホコリを取ります。
化学雑巾や化学モップなどは使用を避けてください。

3 部分補修する場所とその周辺を洗剤拭きし、汚れを取り除きます。

床用洗剤を水で希釈し、固く絞った雑巾で擦り拭きをします。ひどい汚れの場合は、ネットスポンジなどで擦り落としてください。洗剤拭きが終わったら水で湿り拭きを行い洗剤分を取り除き、十分に乾燥させます。
※目地に洗剤が溜まらない様に注意してください。

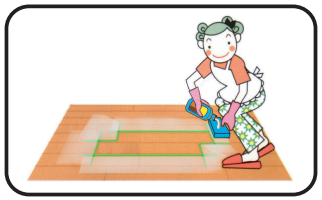


養生完了

4 補修箇所を養生します

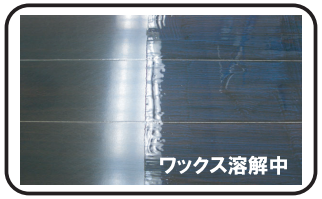
補修箇所のある床板のピース（目地で区切られた一枚の床板）を含め、補修する部分を決めます。
補修するピースの目地の外側部分（左の赤枠の様に目地で区切る）に養生シートを貼ります。角になる部分は隙間が出来ないようにするため、左下の写真の様に必ず重ね張りをしてください。

※養生シートはホームセンターなどで購入できます。
（紙テープではなく、弱粘のガムテープなどです）



5 補修箇所のワックスの除去を行います

スポンジにフローリング用ワックス専用の除去剤（**オール床クリーナー**原液使用）を含ませて補修箇所からはみ出ない様に注意してたっぷり塗ります。



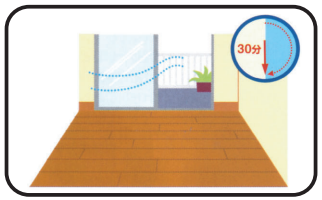
6 ワックスを溶解するため5分間放置します

古いワックスを確実に除去するため、完全に溶解して白く浮いてくるまで5分間程度待ちます。
ある程度白く浮いてからスポンジタワシでこすると早く除去できます。白く浮いたら濡れ雑巾で拭き取ります。

ご注意！　ワックス溶解中は非常に滑りやすくなります。作業者以外は退室してください。

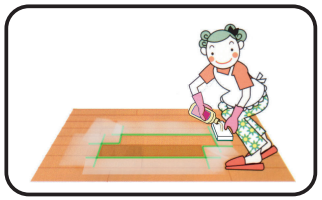
7 水拭きをします。

きれいに水洗いした雑巾を固く絞って、**水拭きを2回**行います。
洗剤は乾かないうちに拭き取ってください。
また、床面や溝に洗剤が残らないようにします。
ご注意！ 床面と洗剤類との接触時間は5分以内になるよう手早く作業を行ってください。



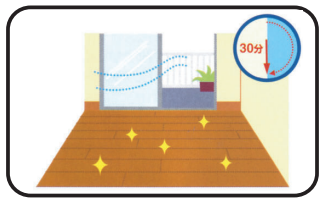
8 床を充分に乾燥させます。

水分が残っているとワックスの仕上がりに影響しますので、約30分間ほど乾燥させます。
扇風機を使用するのも効果的です。 冬期は、暖房を25℃程度に設定すると、乾きを早くすることが出来ます。



9 ワックスを塗布します。

養生シートを再度同じ場所に貼り、ワックスを布などに付けて薄く均一に塗布し、そのまま30分～60分乾燥させます。周囲と同じ位の光沢になる様もう一度繰り返し塗ります。
ワックスを2度塗りする場合は、擦らずに水拭きをする要領で塗布してください。



10 ワックスを充分に乾燥させます。

養生シートを注意深く剥がし、乾燥させます。乾燥には約30分間ほどかかります。扇風機を使用するのも効果的です。扇風機を使用する場合には、床に直接風が当たらない様に風の向きを調整してください。補修部分のツヤが周囲と合わなくても、数日で目立ちにくくなります。

ご注意！　ワックスが乾燥してから夏季48時間以上、冬季72時間以上経過するまでは、多量の水分との接触や水拭きは避けるようにして下さい。